



タケコプター型腰ベルトeVTOL 新製品開発プロジェクト

都市防災・インフラ点検・屋内倉庫巡回を革新する

1. プロジェクト概要

都市防災・インフラ点検・屋内倉庫巡回など

🚀 「人が歩けるが飛んだ方が早い」

シナリオを想定した超軽量eVTOL

⚙️ 腰ベルト型フレームに4基の高揚カプロップを折りたたみ格納

💡 転倒検知で自動展開するパラシュートを搭載

🕒 飛行許可が得やすいレベル1（25kg未満）カテゴリーを維持

🕒 5分間／500mのホバリング移動を実現



2. 目的

人員迅速移動

災害現場や大型倉庫での迅速な移動を実現し、緊急対応時間の短縮と作業効率の向上を図ります。

転落・転倒リスク低減

パラシュートと胴当てハーネスにより、使用者の安全を確保し、高所作業や不安定な場所での作業リスクを大幅に低減します。

法規制対応実証

ドローン法改正後のパーソナルマイクロeVTOLの実証を行い、新たな規制環境下での運用モデルを確立します。

